

## 銚子市都市計画審議会 会議概要

日 時	令和6年3月18日（月曜日） 午後1時15分～午後2時50分
場 所	銚子市役所 議会棟2階 全員協議会室
出席者	委員 信太委員、飯嶋委員、坂尾委員、木村委員、池田委員、 神田委員、野口委員 銚子市 越川市長 事務局 古田都市整備課長、山田都市整備室長、青野副主幹、土屋副主査、 土屋主事 受託業者1名 傍聴者 なし
資 料	銚子市立地適正化計画（案） 立地適正化計画について（資料1） 銚子市立地適正化計画（案）概要版（資料2） 用途地域の指定状況（資料3） 銚子市立地適正化計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果 （資料4）
内 容	別紙のとおり

開会にあたり、市長あいさつの後、事務局から委員を紹介。互選により木村委員が会長に選任され、木村会長の議事進行により審議会を開催した。

(議長)

議題1 銚子市立地適正化計画の策定について説明を受け、質疑・意見交換をしたいと思えます。銚子市立地適正化計画の策定について、事務局の説明を求めます。

(事務局)

銚子市立地適正化計画の策定について説明

(委員)

今回の計画を策定するにあたり、予算措置支援が受けられるのでしょうか。現実的に計画を策定した場合どのような支援を受けられるのでしょうか。

(事務局)

立地適正化計画を進めるために、具体的な個別計画を定める必要があるものと考えられます。その個別計画に基づいて各補助制度があります。またもう一つとして財政措置としての考え方があり、今後公共施設の再編や集約する場合の地方債における交付税の率が上乘せになる場合も想定されるなどの財政支援が受けられます。

(委員)

この計画は国の計画に沿いすぎていて、地域性がないと思います。現在は、DXを推進すべきであると考えますが、DXが入っておらず居住の内容しか記載されていません。銚子は産業都市であるのに、居住の内容しか記載されておらず、銚子の産業の独自性としてのボリュームが足りないと感じます。

(事務局)

今回は国の指針に沿い計画を策定しました。今後、5年ごとの計画の見直しのなかで、具体的な産業の計画や地域の特性を組み入れた政策などについて検討していきたいと考えています。

(委員)

今後、銚子市は人口減少が進むなか、観光業も盛んであるので流入人口を増やす必要があると思います。今回は居住という観点でのスタートラインであると理解しました。今後見直しのなかで、国の補助制度を活用できるよう具体的な計画を期待します。

(委員)

船木、豊岡地区がでてきませんが、どうなってしまうのでしょうか。なくなってしまうのでしょうか。また、銚子駅周辺に大規模小売店舗は建てられるのでしょうか。この計画は、地域産業とコラボレーションしたまちづくり計画になってないと感じます。人口減少の原

因として、やるべきことをやらなかったからではないのでしょうか。

(事務局)

国の指針に基づき、一定の人口密度を維持している地域を考慮し設定したものであります。今後見直しの際に船木、豊岡地区については、地域拠点としての設定を検討していきたいと思います。現時点では銚子駅周辺には大規模小売店舗を建設する土地はありませんが、この計画は今後20年から30年後を見据えた長期の計画であるということを理解いただきたいと思います。

(委員)

今後は免許証返納による買い物難民が増えてくることが予想されますが、何か具体的な対策があるのでしょうか。

(事務局)

具体的な計画については、今後の課題とさせていただきたいと思います。また、今後個別の商業政策を検討するときに立地適正化計画に則した国の補助制度があれば併せて検討していきたいと考えています。

(委員)

本市の産業は人手不足であり、外国人がいないと産業が成り立たないため、この計画の中に外国人が住みやすい住環境の整備を入れて欲しいと思います。

(委員)

防災について、銚子は地形と高台が多いが、これは強いポテンシャルであると思います。今後防災拠点の整備していく際に、将来的に銚子三中を活用してはどうでしょうか。

(事務局)

今後、学校の跡地を防災拠点などとするかについては担当部局とも協議が必要になるものと思います。計画の見直しの際、何か活用できる事業があれば今後検討していきたいと考えています。

以上